2024.12.11時点の農薬登録内容で作成

JA庄内たがわ

防除時期	対象病害虫	RAC コード	登録農薬名	希釈倍数	水1000当 り薬剤量	使用時期	使用回数	備考
播種前	ネコブセンチュウ	I:1B	ネマトリンエース粒剤	全面土壤混和20kg/10a		播種前	1回	
	ネキリムシ類	I:1B	ダイアジノン粒剤5	土壌表面散布6kg/10a		収穫開始30日前まで	2回以内	
播種時 ~ 生育初期	苗立枯病 (ピシウム菌)	F:32	タチガレン液剤	500倍	200ml	播種時~発芽初期	2回以内	植穴または株元灌 注50~200ml/株
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	F:14	リゾレックス水和剤	1,000倍	100g	播種時及び 子葉展開時	2回以内	植穴土壌灌注 1兆/㎡(150ml/穴)
	ネキリムシ類	I:3A	ガードベイトA ※1	株元散布3kg/10a		播種時~生育初期	o E si t	※:: ガードベイトA と アディオン乳剤 と
	アブラムシ類 ハスモンヨトウ、カメムシ類	I:3A	アディオン乳剤 ※1	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	<u>アナイオン乳剤</u> と 合わせて <u>3回以内</u>
	アブラムシ類	I:4A	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4,000倍	25g	収穫前日まで	3回以内	
		I:4A	ダントツ水溶剤	2,000倍	50g	収穫前日まで	3回以内	
		I:9B	チェス顆粒水和剤	6,000倍	16.6g	収穫前日まで	3回以内	
生	ハスモンヨトウ オオタバコガ	I:13	コテツフロアブル(劇)	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	
育	ハスモンヨトウ オオタバコガ・ヨトウムシ	I:15	アタブロン乳剤	2,000倍	50ml	収穫前日まで	4回以内	
期	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	I:28	プレバソンフロアブル5	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	
\$	ハスモンヨトウ	I:28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	50g	収穫前日まで	2回以内	
収	オオタバコガ、ハスモンヨトウ	I:30	グレーシア乳剤	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	
穫	葉枯細菌病	F:24 F:M01	カスミンボルドー	1,000倍	100g	収穫開始7日前まで	3回以内	
期	軟腐病	F:M01	Zボルド ー	500倍	200g	-	-	野菜類登録 (キャベツを除く)
	うどんこ病・ハダニ類	I:UN F:M10	モレスタン水和剤	3,000倍	33.3g	収穫前日まで	3回以内	
	うどんこ病・黒斑病・葉すす病	F:3	トリフミン水和剤	5,000倍	20g	収穫前日まで	3回以内	
	黒斑病 灰色かび病	F:2	ロブラール水和剤	2,000倍	50g	収穫前日まで	3回以内	

適用除草剤

対象雑草	RAC コード	登録農薬名	使用薬剤量	使用時期	使用回数	備考
1年生雑草	H:10	バスタ液剤	300~500ml/10a 雑草茎葉散布	収穫前日まで (雑草生育期 は種前又は畦間処理)	3回以内	散布液量 100~1500/10a

農薬安全使用及び適正管理について!

- 1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
- 2. 園地の適正な排水管理を行う。
- 3. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。

防除器具の農薬残留に留意!!

- ・防除器具は、前回散布後に充分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整前にもう一度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用後、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。
- ○オクラ栽培時は、記載されている農薬以外は使用しない。
- ○ネキリムシの被害が多い方は、上記薬剤にて対応をお願いします。